



宮城社長



比嘉専務

## ミヤギパッケージ

沖縄県屈指のパッケージ印刷会社である株式会社ギヤ・ギ・パッケージ（本社・沖縄県島尻郡八重瀬町字屋高原1-76の1、宮城祥史社長）が今年4月、本社および工場を新築・移転し、それを機に製函機、断裁機、打ち抜き機などの工場設備も一新した。このリストアードの目玉となつた設備が、リヨービMHIグラフィックテクノロジー（本社・広島県府中市、広川勝士社長）の代理店である菱美機械株式会社（千葉県柏市、高木雄一社長）から導入した、厚紙対応の菊全寸のび判6色ニスコーター付UV印刷機「RMGT10 1050LX-6」だ。この印刷機の能力を核に、コロナ禍にも生き残るためにビジネススタイル変革を目指す。

同社は、県内の顧客に

も約3割減となつた。

向けて、パッケージの企

画・提案、デザインから印

刷、後加工まで一貫して

請け負うパッケージメー

ター。売上構成は日用品

のパッケージ製作が7割

で、土産物・観光用途の

パッケージ製作が3割を

占めていた。ところが、

このコロナ禍によつて沖

縄県への観光・来訪者が

激減し、土産物・観光用

途のパッケージ需要もそ

れと悲調を合わせて縮小

したため、昨年度の売上

が、その後のコロナ禍で

状況が一変したため、生

き残りを賭けたものとな

る。移転に際してまず

が、その後のコロナ禍で